

授業科目名 <英訳>	二十世紀学(演習II) (Seminars)			担当者氏名	人文科学研究所 助教 小野 容照				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	水3	授業形態	演習
題目	朝鮮人独立運動家の日記・手記を読む								
【授業の概要・目的】									
植民地時代(1910-1945)に朝鮮人独立運動家が書いた日記・手記(朝鮮語)をテキストとして講読し、テキストに登場する人物・事件・事柄などについて調査する。この作業を通して、朝鮮語の読解能力を高めるとともに、関連事項を調査するための方法(とくに韓国側のインターネット情報へのアクセス)を習得することを目指す。									
【授業計画と内容】									
今年には第一次世界大戦開戦100周年にあたるが、大戦と朝鮮との関係については未だ十分に検討されていない。そこで、1910年代から1920年代前半にかけて活躍した朝鮮人独立運動家の日記・手記をテキストとし、彼らが大戦の勃発に伴う国際情勢の変化(日本の対ドイツ宣戦布告、ロシア革命、民族自決主義など)をどう認識したのかを探っていきたい。なお、予定しているテキストは原文が漢文で書かれており、後に韓国で現代朝鮮語訳されたものを使うため、比較的平易である。授業は、受講者による音読・日本語訳と担当者による解説を中心に進める予定である。									
【履修要件】									
初級程度の朝鮮語を習得していることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
期末試験は行わず、平常点を重視する。									
【教科書】									
授業で使用するテキストは、担当教員が準備して配布する。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									